

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2012 年 4 月

NO. 229

TOPICS

「縁尋機妙」

(社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 杉山 順子
MESSAGE P3

「広報PRアカデミー2012

『広報・PRプロジェクト最新事例セミナー』の開催決定」
ATTENTION P4

「PRプランナー試験 過去問題集を刊行」

ATTENTION P6

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 2 番 31 号 六本木ヒルズノースタワー5F
電話 (03) 5413-6760 ファックス (03) 5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F
電話 (06) 6344-3002 ファックス (06) 6344-3005

発行人: 森 健

4月号 目次

4月～5月のスケジュール	-----	1
MESSAGE(メッセージ) 「縁尋機妙」	-----	3
ATTENTION(お知らせ) 「広報PRアカデミー2012「広報・PRプロジェクト最新事例セミナー」の開催決定」	-----	4
〃 「PRプランナー試験 過去問題集を刊行」	-----	6
BULLETIN(活動報告) 「2011年冬 なでしこカウンスル開催報告」	-----	8
〃 「広報PRアカデミー2011 今期「マネジメントコース」全科目を終了し閉幕」	-----	9
〃 「第10回PRプランナー資格検定1次試験 3月7日 東京・大阪・福岡で実施」	-----	10
REPORT(講演レポート) 「第137回定例研究会開催報告」	-----	13
PR TREND(PRトレンド(国内)) 「ELトレンド指数で見るキーワード・ランキング2012年2月度」	-----	14
PR TREND(PRトレンド(関西)) 「関西の風：活気にあふれた大阪ステーションシティ」	-----	15
PRSJ in Media 「協会掲載記事」	-----	16

表4

4月～5月スケジュール

第 5 回広報活動研究会 (企業部会)	日 時 : 4 月 6 日(金) 15:00～17:00 会 場 : 京王電鉄(株) 富士見ヶ丘車両基地 講 師 : 京王電鉄(株) 広報部長 武井 良仁氏 テーマ : 「地域社会と広報・CSR活動」 講 師 : 同 車両電気部車両課長 梁瀬 哲夫氏 テーマ : 「鉄道事業の概要と富士見ヶ丘車両基地とについて」
第 20 回PRスキル研究会 (PR業部会)	日 時 : 4 月 12 日(木) 17:00～18:30 会 場 : (株)内外切抜通信社 B-1 ホール 講 師 : (株)内外切抜通信社 営業部長 前田 裕伸氏 テーマ : 「メディア露出調査と広報成果の関連性を考える」
広報PRアカデミー2012 基礎コース 「広報・PR基礎講座」	日 時 : 4 月 13 日(金)・16 日(月)・17 日(火) 3 日間 4 月 13 日:8:45～18:00 16 日・17 日:9:00～17:30 会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
第 139 回定例研究会	日 時 : 4 月 27 日(金) 12:00～14:00 会 場 : 日本外国特派員協会(FCCJ) 講 師 : NHK 制作局経済社会情報番組部 「クローズアップ現代」特集班 チーフプロデューサー 細田 美和子氏 テーマ : 「“30 分 1 テーマ”で時代を先読みする「クローズアップ現代」 ～変化の予兆を掴み取る広報・PRの視点を如何に築くか～」
第 10 回PRプランナー資格 検定 2 次試験	日 時 : 5 月 13 日(日) 10:20～ 会 場 : 学習院大学 目白キャンパス 南 3 号館(東京) 大阪社会福祉指導センター 4F(大阪)
広報PRアカデミー2012 専門・応用コース 「広報・PRプロジェクト 最新事例セミナー」	日 時 : 5 月 16 日(水)・6 月 14 日(木) 19:00～21:30 会 場 : (株)博報堂東京本社 会議室
広報PRアカデミー2012 専門・応用コース 「ソーシャルメディア実践講座」	日 時 : 5 月～6 月に開催を予定

予 告

通常総会開催

日 時 : 2012 年 5 月 30 日(水)
通常総会 17:00～ / 懇親パーティ 19:00～
会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
通常総会 「スカイスタジオ」
懇親パーティ 「タワーホール」

4月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（4月度）	日 時	： 4月11日（水） 12：00～14：00
	場 所	： 六本木ヒルズクラブ
組織委員会（4月度）	日 時	： 4月19日（木） 14：30～16：30
	場 所	： 協会会議室
国際委員会（4月度）	日 時	： 4月13日（金） 12：00～14：00
	場 所	： 未定
教育委員会（4月度）	日 時	： 4月4日（水） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
広報委員会（4月度）	日 時	： 4月24日（木） 15：00～17：00
	場 所	： 協会会議室
出版委員会（4月度）	日 時	： 4月19日（木） 17：00～19：00
	場 所	： 協会会議室
顕彰委員会（4月度）	日 時	： 4月18日（水） 11：00～13：00
	場 所	： 協会会議室
資格制度委員会（4月度）	日 時	： 4月26日（木） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
PR業部会幹事会（4月度）	日 時	： 4月12日（木） 14：00～16：00
	場 所	： 協会会議室
IT委員会（4月度）	日 時	： 4月6日（金） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室

縁尋機妙

(社)日本パブリックリレーションズ協会
理事 杉山 順子

机を整理していて、協会に加入して間もなく、平成 18 年度「新人のための広報講座」に教育委員会の担当としてオブザーバー参加させていただいた時のファイルを、久しぶりに懐かしく手に取りました。

その中に、「PR パーソンの基本」というカリキュラムがあります。毎年恒例、一番人気の講座ですが、講座のはじめに、「PR パーソン能力度チェックシート」を全員でテストのように行います。そこには 15 のチェック項目があり、まだ広報とはなんぞや、という状況だった私にとっては、たまたま全部チェックが入ったことがとても嬉しかったことを、昨日のこのように覚えています。

4 月というこの時期、異動で初めて広報に携わる方もいらっしゃるであろうことから、我が身を振り返る意味もこめて、PR パーソンの心得 6 カ条を確認してみたいと思います。

- 1) 社会学(世間学)を学ぶ
一 世の中の動きはすべてPR の「勉強」
- 2) 疑問体質に変える
一 「なぜ？」という気持ちを忘れずに
- 3) 貯縁に励む
一 縁を積極的に作り育てる
- 4) サービス精神を発揮する
一 サービスが使命
- 5) 博愛精神で接する
一 好き嫌いをなくす
- 6) プロ知識／アマ感覚を持つ
一 消費者を意識したプロレベルのアマチュアになる

いずれも非常に大切ですが、特に 3) の「貯縁に励む」ということが、励むというよりは、ごく自然にいただいたご縁を大切にしてきた結果が、広報パーソンとしてはもちろん、自分の人生の中で、重要であったと、今あらためて思います。

瀬戸内寂聴氏が、「奇縁まんだら」のはしがきに、「生きるということは、日々新しい縁を結ぶことだと思う。数々ある縁の中も人と人との縁ほど、奇なるものはないではないか」と書いているように、「縁」がいかに人生を豊かにすることか、あらためて申し上げるまでもありません。

広報に携わる人間は、社内の中で、もっとも外部との接点が多いと思いますが、その縁をどう活かしていくかはその人次第。

まずいい人に会ってゆくこと、そして「気」のいい場所に出向くこと、それがいい機会をうむ、いわゆる「縁尋機妙」(＝良い縁がさらに良い縁を尋ねて発展してゆく様は誠に妙なるものがある)ですが、それを得る場・実践する場として、PR 協会が貴重な場であることを、あえて今、声を大にしてお伝えしたいと思います。

PR 業に携わる方・企業の広報担当者がほぼ半数ずつ、そして、その企業規模も役職も年齢も性別も関係なくフラットに情報交換ができる、こういう組織は非常に珍しいことは間違いありません。この場をどう使うか、活かすかは会員の皆様次第。

皆様、積極的に協会活動に参加することで、いい縁をたくさん作っていきましょう。

広報PRアカデミー2012

「広報・PRプロジェクト最新事例セミナー」の開催決まる

「PRアワードグランプリ 2011」受賞プロジェクトを2日に分け紹介

5月16日と6月14日夜、博報堂東京本社会議室にて

教育委員会・顕彰委員会

協会では、昨年実施した「PRアワードグランプリ 2011」において「グランプリ」、「部門最優秀賞」を受賞したプロジェクトを一堂に公開するイベントとして、「広報・PRプロジェクト最新事例セミナー」を、来たる5月16日（水）、6月14日（木）の2回に分けて開催いたします。会場は、両日とも株式会社博報堂本社 会議室（東京都港区赤坂5丁目3番1号 赤坂Bizタワー）、午後7時よりスタートの予定です。



昨年12月5日の最終審査会

「PRアワードグランプリ 2011」では、協会からの公募に基づき多くの企業や団体からさまざまな広報・PRプロジェクトが応募されました。約40点に及ぶさまざまな広報・PRプロジェクトは、「コーポレート・コミュニケーション」、「マーケティング・コミュニケーション」、「ソーシャル・コミュニケーション」、「イノベーション」の4部門における厳正な部門審査を経て12タイトルに絞られました。12月5日に開催された最終選考会において、特別審査員2名、各部門審査員長4名および公募の一般審査員31名の投票により「最優秀賞」及び「優秀賞」、そして部門を超えて頂点に輝く「グランプリ」の選出が行われました。この度、開催する「広報・PRプロジェクト最新事例セミナー」では、最も優れた評価をえたこれらの広報・PRプロジェクトをご紹介します。

なお、これらの秀逸なプロジェクトは、すべての広報・PR関係者にとって業務の参考となる貴重な“範”となるものです。協会ではわが国における広報・PRの発展への貢献を趣旨として、各プロジェクトの企画と実施を推進した企業や団体、サポートにあたったPR会社やPR関係会社の皆様のご協力をえて本セミナーを開催いたします。



講評する江戸川大学 濱田教授

現在、教育委員会では本セミナーに関する企画の詳細を検討しており、近日中に協会内外へのご案内と聴講受付を開始いたします。皆様のご参加をお待ちします。

■「広報・PRプロジェクト最新事例セミナー」プログラムの概要

日 時	会 場	内 容	講演会社・団体
5月16日 (水) 19:00 ～ 21:30	(株)博報堂 東京本社会議室	ご挨拶/「PRアワードグランプリ 2011」について	日本PR協会
		●マーケティング・コミュニケーション部門最優秀賞 『江崎グリコ 『「アイスの実」キャンペーン 2011PR活動』』	(株)電通 関西支社／ (株)電通パブリックリレーションズ関西支社
		●ソーシャル・コミュニケーション部門最優秀賞 『被災地 石巻へ食糧配給拠点立ち上げ ～東日本大震災直後からの支援活動～』	セカンドハーベスト ジャパン
		●イノベーション部門最優秀賞 『「マーケティング 3.0＝世の中と企業とが価値を共創する時代」のPR発想からの統合コミュニケーションプログラム「ヴィクトリーイレブンプログラム」』	(株)博報堂
		講評と講演/最近の広報・PRトレンドと「PRアワードグランプリ 2011」における表彰事例の意義(仮題)	江戸川大学 教授 日本広報学会 理事長 濱田 逸郎氏
6月14日 (木) 19:00 ～ 21:30	(株)博報堂 東京本社会議室	●コーポレート・コミュニケーション部門最優秀賞 『宇都宮市都市ブランド戦略プロジェクト 宇都宮プライド ～100年先も誇れるまちを、みんなで～』	(株)オズマピーアール
		●PRアワード 2011 グランプリ 『議会広報紙のイノベーション ～さいたま市議会「ロクマル」の挑戦～』	(株)電通パブリックリレーションズ
		講評と講演/最近の広報・PRトレンドと「PRアワードグランプリ 2011」における表彰事例の意義(仮題)	講師選定中
		「PRアワード 2012」の募集について	日本PR協会



「PRプランナー試験」過去問題集を刊行

実際の出題を収録した『広報・PR資格試験 過去問題集』を4月5日より発売

協会では、「PRプランナー資格認定検定試験」（以下 PRプランナー試験）で実際に出題された問題を収録した『広報・PR資格試験 過去問題集～PRプランナー資格認定制度1次・2次・3次試験過去問題集』を、本年4月5日に刊行いたします。

本書の定価は1,575円（消費税込）で、全国書店ならびにアマゾンなどのネット書店を通じて販売いたします。

『広報・PR資格試験 過去問題集』は、制度発足以降すでに5年目を迎えたPRプランナー試験で出題された1次から3次にわたる試験問題を収録、その解答（3次は参考解答例）と解説、試験対策のポイントなどを掲載して編集しています。今まで実施されたPRプランナー試験において実際に出題された問題を掲載しているため、読者はPRプランナー試験における問題のレベルや出題形式、解答作成の要領などを把握でき、PRプランナー試験の準備に効果的に活用することが可能です。



本書の刊行により、すでに刊行されている1次試験対応テキスト『広報・PR概論』、2次・3次試験対応テキスト『広報・PR実務』とあわせ、PRプランナー試験の受験に向けた学習環境が充実しました。PRプランナー志望者は、万全の試験対策を講じることが可能となりました。

なお、協会では、本書の刊行にあわせ会員向け優待販売を行う予定です。詳細については、おってメールと協会Webでご案内いたします。

PRプランナー1次試験対応テキスト『広報・PR概論』を改訂



この度、日本PR協会では、PRプランナー1次試験対応テキスト『広報・PR概論』の改訂を実施しました。今回の改訂では、広報・PR活動におけるインターネットの活用に関する章を全面的に改めるとともに、国際広報に関する最新の動向について記述を追加しました。さらに、随所に掲載されている図版等の統計データを最新の資料に更新し、あわせて本文の記述を見直すなど、急速な時代の変化に対応する改訂を行っています。

『改訂版 広報・PR概論』の刊行は4月5日、定価2,575円（消費税込）で、全国の大手書店、アマゾンなどのネット書店を通じて販売いたします。

**『広報・PR資格試験 過去問題集
～PRプランナー資格認定制度1次・2次・3次試験過去問題集』
の出版概要**

書 名	『広報・PR資格試験 過去問題集 PRプランナー資格認定制度 1 次・2 次・3 次試験過去問題集』
仕 様	A5 判 158 ページ
刊 行 日	2012 年 4 月 5 日(木)
価 格	1,575 円(消費税込)
部 数	1,500 部
編 著 者	社団法人日本パブリックリレーションズ協会
発 売 元	株式会社同友館
内 容	はじめに PRプランナー資格認定検定試験の概要 (1) わが国における広報・PR (2) 制度創設に向けた取り組み (3) 「PRプランナー資格認定制度」の目的 第1部 1次試験 (1) 1 次試験の位置付けと出題範囲・実施概要 (2) 1 次試験の内容と学習のポイント (3) 過去の出題例と解説 (13 問を収録) 第2部 2次試験 (1) 2 次試験の位置付けと出題範囲・実施概要 (2) 2 次試験の内容と学習のポイント (3) 過去の出題例と解説(科目 A 4 問、B 4 問、C 4 問、D 16 問を収録) 第3部 3次試験 (1) 3 次試験の位置付けと出題範囲・実施概要 (2) 3 次試験の内容と学習のポイント (3) 過去の出題例と解説 (課題 A 2 問、課題 B 4 問を収録) <付>PRプランナー資格認定制度について

会 員 限 定**2011 年冬「なでしこカウンスル」開催報告****組 織 委 員 会**

2 月 21 日（火）、㈱アルソアねむの樹トラスト東京研修室（渋谷）で「2011 年冬なでしこカウンスル」が開催されました。定員 30 名に対し、早くから申し込みをいただき、当日は 34 名の広報に携わる女性たちが参加しました。

今回は、毎日新聞記者上杉恵子氏をお招きし、「新聞記者から広報ウーマンへ。してほしいこと、してほしくないこと。」について忌憚のないお話をいただきました。

広報PRアカデミー2011

今期「マネジメントコース」、全科目を終了し閉幕

教育委員会

広報・PRに関する専門的な知識とスキルの習得を通じて実力ある広報・PRマネージャーの養成をめざした「広報PRアカデミー2011 マネジメントコース」が、3月開講の2科目をもって全科目を終了しました。

まず、3月7日、「科目7 広報・PRマネージャーのためのグローバル広報マネジメント」が、講師に筑波学院大学 経営情報学部教授の大島 慎子氏をお迎えして開講されました。

大島氏は、国際広報が海外進出を行う日本企業のみならず、国内におけるすべての企業が持つべき視点であることを強調し、社会的責任、説明責任の遂行と倫理観・透明性の確保がそのポイントであることを解説しました。また、海外メディアによる東日本大震災の報道内容について具体的に紹介し日本からの情報発信における問題性とその重要性、海外企業におけるソーシャルメディア活用などの最新動向にも触れ、日本の社会慣習との調整の必要性など国際的な視点に立つ広報・PRのポイントを示し、講義を締めくくりました。会場では、グローバルな広報・PRに関する新鮮な視点の提示にうなずく姿が印象的でした。



3月21日には、クロスメディア・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役の雨宮和宏氏を迎え、「科目8 広報・PRマネージャーのためのWebとソーシャルメディア活用マネジメント」が開講されました。

雨宮氏は、かねてより企業広報の視点より一貫してネット利用の動向に注目しており、この日の講座でもWeb利用における動向やメッセージの伝わりやすいWebサイトの実例を紹介、さらに広報・PRにおけるソーシャルメディアの活用についての実際や運用ポリシーの必要性、ガイドラインの設計手順を解説し、対話型コミュニケーションの重要性を強調しました。広報・PRにおける具体的な活用事例に、多くの受講者は興味深く聴き入っていました。



講義終了後には本コースの修了式を実施し、教育委員会前田委員長より受講者に修了証の授与が行われました。その後、受講者や講師の参加のもとに懇親会が開かれ、5か月間12講座にわたる今期の「マネジメントコース」は、受講者の笑顔に包まれ和やかに閉幕しました。

新年度にあたり協会では「マネジメントコース」をはじめすべての講座企画を再検討、4月より「広報PRアカデミー2012」を開講します。今年11月には、「マネジメントコース」をさらに充実させ、「プロフェッショナル広報・PRシリーズ」として新たに開講します。講座の詳細ならびに申込手続きについては、今夏8月を目途として協会Webサイトでご案内の予定です。

第10回PRプランナー資格検定1次試験 3月4日、東京・大阪・福岡で実施 399名の受験者が挑戦！

資格制度委員会

3月6日（日）（東京会場：明治大学 駿河台キャンパス、大阪会場：毎日インテシオ、福岡会場：福岡建設会館）で行われた1次試験には、466名の受験申込があり、そのうち399名（出席率85.6%）が受験されました。

当日、東京は曇天、大阪・福岡会場は雨でしたが、多くの方が受験され、298名が合格されました（合格率74.7%）。

今回の合格者も、一般企業で広報・PR関連部署以外の方の割合が非常に高いのが特徴。また今回は昨夏に札幌で実施した他都市での開催に続き、初めて福岡で実施となりました。福岡会場の受験申込者は24名でしたが、当日は20名が受験されました。



東京会場・明治大学 駿河台キャンパス



福岡会場・福岡建設会館



福岡会場・福岡建設会館

ご協力いただきました大学関係者の皆様、大変ありがとうございました。また、ご協力いただきました皆様、大変ありがとうございました。

なお、今回の1次試験受験者・合格者プロフィールは次ページの通りです。

<1 次試験受験者・合格者 所属別プロフィール>

		PR業/ PR関連業	一般企業 (広報PR関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	学生	その他	全体
男性	受験者	62 名	47 名	36 名	2 名	5 名	6 名	34 名	8 名	200 名
	合格者	49 名	39 名	30 名	2 名	5 名	6 名	17 名	4 名	152 名
女性	受験者	42 名	81 名	17 名	4 名	5 名	3 名	29 名	18 名	199 名
	合格者	31 名	67 名	12 名	3 名	4 名	2 名	14 名	13 名	146 名
全体	受験者 (全体比)	104 名 (26.0%)	128 名 (32.1%)	53 名 (13.3%)	6 名 (1.5%)	10 名 (2.5%)	9 名 (2.3%)	63 名 (15.8%)	26 名 (6.5%)	399 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	80 名 (26.8%)	106 名 (35.6%)	42 名 (14.1%)	5 名 (1.7%)	9 名 (3.0%)	8 名 (2.7%)	31 名 (10.4%)	17 名 (5.7%)	298 名 (100.0%)
	合格率	76.9%	82.8%	79.2%	83.3%	87.7%	88.9%	49.2%	65.4%	74.7%

		20 代	30 代	40 代以上	全体
男性	受験者	87 名	79 名	34 名	200 名
	合格者	59 名	67 名	26 名	152 名
女性	受験者	103 名	77 名	19 名	199 名
	合格者	74 名	57 名	15 名	146 名
全体	受験者 (全体比)	190 名 (47.6%)	156 名 (39.1%)	53 名 (13.3%)	399 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	133 名 (44.6%)	124 名 (41.6%)	41 名 (13.8%)	298 名 (100.0%)
	合格率	70.0	79.5	77.4%	74.7%

受験者	合格者	合格率
399 名	298 名	74.7%

<1次試験 年代別合格率 ※第1回～第10回累計>

		PR業/ PR関連業	一般企業 (広報PR関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	学生	その他	全体
男性	受験者	602 名	659 名	256 名	22 名	38 名	53 名	328 名	166 名	2124 名
	合格者	525 名	591 名	210 名	20 名	37 名	49 名	197 名	126 名	1755 名
女性	受験者	504 名	772 名	198 名	24 名	29 名	32 名	394 名	172 名	2125 名
	合格者	408 名	660 名	157 名	20 名	22 名	29 名	215 名	125 名	1636 名
全体	受験者 (全体比)	1106 名 (26.0%)	1431 名 (33.7%)	454 名 (10.7%)	46 名 (1.1%)	67 名 (1.6%)	85 名 (2.0%)	722 名 (17.0%)	338 名 (8.0%)	4249 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	933 名 (27.5%)	1251 名 (36.9%)	367 名 (10.8%)	40 名 (1.2%)	59 名 (1.7%)	78 名 (2.3%)	412 名 (12.1%)	251 名 (7.4%)	3391 名 (100.0%)
	合格率	84.4%	87.4%	80.8%	87.0%	88.1%	91.8%	57.1%	74.3%	79.8%

		20 代	30 代	40 代以上	全体
男性	受験者	846 名	780 名	498 名	2124 名
	合格者	625 名	689 名	441 名	1755 名
女性	受験者	1138 名	744 名	243 名	2125 名
	合格者	787 名	641 名	208 名	1636 名
全体	受験者 (全体比)	1984 名 (46.7%)	1524 名 (35.9%)	741 名 (17.4%)	4249 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	1412 名 (41.6%)	1330 名 (39.2%)	649 名 (19.1%)	3391 名 (100.0%)
	合格率	71.2%	87.3%	87.6%	79.8%

受験者	合格者	合格率
4249 名	3391 名	79.8%

福岡会場 受験者アンケート

1. 試験の感想は？（内容）

	一般	学生	小計	割合
やさしい	2	0	2	11%
ちょうどいい	10	0	10	53%
むずかしい	4	3	7	37%
計	16	3	19	100%

※やさしい、ちょうどいい、むずかしい、の3つからご選択いただきました。

2. 試験の感想は？（時間）

	一般	学生	小計	割合
ながい	0	0	0	0%
ちょうどいい	11	2	13	65%
みじかい	6	1	7	35%
計	17	3	20	100%

※ながい、ちょうどいい、みじかい、の3つからご選択いただきました。

3. 1次試験に合格された場合2次試験を受験されますか？

	一般	学生	小計	割合
する	15	3	18	90%
しない	1	0	1	5%
未定	1		1	5%
計	17	3	20	100%

会 員 限 定**第 137 回定例研究会****日本経済新聞 産業部の役割と
現場の記者に託していること****講師：日本経済新聞社 編集局****日経産業新聞編集長 井口哲也 氏**

第 137 回定例研究会を 2 月 14 日（火） 六本木アカデミーヒルズ 49 で開催しました。

講師は日本経済新聞社東京本社編集局「日経産業新聞」 編集長 井口 哲也氏。テーマは、「日本経済新聞 産業部の役割と現場の記者に託していること---日経産業新聞編集長に日経の企業取材と編集方針、 記者との付き合い方を聞く---」。当日の参加者は 68 名でした。

ELトレンド指数で見るキーワード・ランキング 2012年2月度

エレクトロニック・ライブラリーは、2011年12月度の「話題のキーワード・ランキング」を発表しました。

これは、12月に発行された新聞96紙・雑誌約100誌のうち、「ELNET」に登録されているキーワード約263万語のヒット数の増減を数値化した「ELトレンド指数」等をもとに「一般キーワード」と「企業キーワード」に分けて分析したものです。

「一般キーワード」と「企業キーワード」のTOP10は以下の通りです。

■ 2012年2月度 EL一般キーワード TOP10

順位	トレンド 指数	キーワード	順位	トレンド 指数	キーワード
1位	12.02	東日本大震災	6位	3.93	海底トンネル
2位	7.13	原発事故	7位	3.88	バイパス手術
3位	5.22	福島第一原子力発電所	8位	3.86	原子力規制庁
4位	4.50	トンネル事故	9位	3.70	復興需要
5位	4.46	債務危機	10位	3.70	米軍再編

■ 2012年2月度 EL企業キーワード TOP10

順位	トレンド 指数	キーワード	順位	トレンド 指数	キーワード
1位	4.91	AIJ投資顧問	6位	1.78	関西電力
2位	2.57	東京電力	7位	1.69	日本原子力発電
3位	2.36	マイクロン・テクノロジー	8位	1.59	エアアジアジャパン
4位	1.84	エルピーダメモリ	9位	1.56	アドバンテスト
5位	1.80	雪印メグミルク	10位	1.55	北野建設

※ELNETホームページでは毎月の発表を週刊にバージョンアップした上で、「ELウィークリートrend」として毎週水曜日に発表しています。
詳細は以下ご参照ください。

<http://www.elnet.co.jp/el/trend/index.html>

<コラム 関西の風>

活気にあふれた大阪ステーションシティ

(株)ホテルグランヴィア大阪
営業企画部マネージャー
高田 佳江

“ホテルの広報”という職業柄、「大阪」というエリアに関し様々な方とお話しする機会が多くあります。しかし、大阪＝「お笑い」や「粉もん」といったイメージが強く、それ以外にも多彩な魅力を持つ街ということがあまり知られておらず残念に思うこともあります。そうした想いもあり、今回機会をいただいた“コラム 関西の風”では、多くの方に新たな大阪の一面を知っていただくきっかけとなればと思い、記させていただきます。

大阪は今新たな注目スポットの誕生が続き活気に溢れています。新スポットの代表格は、関西交通網の中心・JR大阪駅。昨年5月「大阪ステーションシティ」としてリニューアルした大阪駅は、今年1月には来館者数が1億人を突破するなど、大阪の新たな顔としてすっかり定着しました。当ホテルも位置するこの大阪ステーションシティには新たに百貨店やショッピングビル、映画館や広場、農園が誕生するなど、ただ乗り降りするための駅から1日中「楽しめる駅」へと大きく変化しています。来年春には大阪駅北側の7ヘクタールを超える広大な土地に、オフィスや商業施設、分譲住宅などが入る4つの高層ビル群からなる「グランフロント大阪」がオープンする予定で、駅周辺はますます多彩な施設が集積していきます。



こうした新スポットに加え、雰囲気のある大正・昭和期の近代建築がたつ「北浜エリア」、ドラマ「カーネーション」ののようにレトロな町並みの中にかわいらしい雑貨店やカフェなどが立ち並ぶ「中崎町」、大阪のパワースポット代表格「住吉大社」、聖徳太子によって建立された日本初の本格的な仏教寺院「四天王寺」、風情ある石畳の細い路地が続く「法善寺横丁」など、街歩きスポットには事欠きません。

大阪のホテル業界においては大規模なエリア開発などを受けて、新規ホテルオープンや改装などが予定されています。当社においても今年4月客室フロアを増床し700を超える客室を持つホテルとなる予定で、ますますエリアの情報発信に対する重要性を強く感じています。宿泊施設であるホテル広報として、自社の広報活動はもちろんのこと、観光資源に恵まれた魅力ある街・大阪の魅力発信にも力を尽くしていきたいと思っております。

PRSJ in Media

● 3月19日（月） 『電通報』

当協会が4月から開講する「広報・PRアカデミー2012」が、電通報の記事で取り上げられました。

「基礎コース」「専門・応用コース」「PRプランナー試験対応コース」の3コース8プログラムでの開講、問合せ電話番号が紹介されています。

（事務局 真部）

広報PRアカデミー2012 講座概要

コース	コース目標	対象者	講座名		講座概要	開催時期	講座構成	期間	定員
基礎コース	従来、初級・入門編として実施していた座学の集中カリキュラム	PR会社や広報セクション等に入社、配属された新任もしくは経験の浅い広報・PR業務の担当者。広報・PRを基礎から学びたい方	広報・PR基礎講座		企業の新任広報担当者、PR会社等の広報業務従事者に必要な基本的な知識、スキルを3日間で習得する。	4月	[第1日] ・パブリックリレーションズの基礎（90分） ・広報・PR実務と計画立案の基本（90分） ・コーポレート・コミュニケーションズと企業における広報・PR活動の実際（90分） ・インタナショナル・コミュニケーションの実際（90分） ・広報・PRパーソンの心構えと自己啓発（90分） [第2日] ・PR会社の役割と仕事（90分） ・広報・PRの倫理と法規(著作権等)（90分） ・ニュースリリースの基本作成実習（240分） [第3日] ・新聞、テレビ、雑誌等のメディア特性とメディアリレーションズ（90分） ・ネットの特性と広報における活用（90分） ・メディアリレーションズの基本実習(「実践メディアリレーションズ」)（240分）	全日講座/3日間	60名
			ソーシャルメディア基礎講座 「今さら聞けないネットPR」		Twitter、mixi、Facebookの最も基本的な使い方を学ぶ。会員限定。	5月	・広報・PRにおけるソーシャルメディア活用概論(60分) ・Twitter、Facebook等の操作実習(120分)	180分	10名
専門・応用コース	従来、中級・上級編として実施していた座学及び演習付きカリキュラム	PRアワード受賞プロジェクトに興味のある広報・PR関係者	[事例研究]広報・PRプロジェクト最新事例セミナー――「PRアワードグランプリ表彰企業の取組みに学ぶ――		・「PRアワード2011」のグランプリ、4部門最優秀賞を2回に分けて紹介し、プロジェクト事例の解説し、企画の考え方について学ぶ。	5月・6月	・第1回 PRアワード趣旨/MC部門/イノベーション部門 ・第2回 GP/CC部門/ソーシャル部門	開催時間は検討/2日間	150名
		実務スキルの向上に意欲のある広報・PR関係者	広報・PR実践スキルアップコース	ニュースリリース活用講座 ――ネット時代に対応したニュースリリースの活用――	ニュースリリースの概念や基本的な作成法、メディアの種別や特性を学び、ネットとも連動する広報ツールとしてニュースリリースの効果的な活用方法を講義と演習を通じて習得する。	9月	講義と演習(240分) 3回一括受講者に対してはパッケージ価格として10%引きとする	240分/1回	60名
				マーケティングPR強化講座 ――IMCとソーシャルメディアの活用――	マーケティングPRの概念やソーシャルメディアをはじめとするさまざまなメディアを効果的に活用する活動計画の立案法を、講義と演習を通じて習得する。			240分/1回	60名
				クライシスコミュニケーション強化講座 ――緊急記者会見と危機対応のポイント――	緊急記者会見のシミュレーショントレーニングの経験を通じて、企業や団体の危機的事態における心構え、マスメディアへの対応のポイントについて習得する。			240分/1回	60名
		広報・PRにおけるソーシャルメディアの活用に興味のある方	ソーシャルメディア実践講座		実際に企業や団体の広報、マーケティングの分野で多様なソーシャルメディアを活用しているキーマンによるパネルディスカッションをとおし、活用のポイントや留意すべき問題点について探っていく。	4月、5月、7月(6月交流会)	・パネルディスカッション(各120分) (6月に交流会を開催。第1部各社担当者のショートスピーチ、第2部懇親会で構成)	夜間 120分	150名
		広報・PRにおける専門的な知識、スキルの習得に意欲があり、プロフェッショナルとして自らの実務能力の向上をめざす方	プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ	コーポレート・コミュニケーションの概念と戦略・計画の立案	企業広報の基本となるコーポレートコミュニケーションの概念を企業の実例を交えて解説し、広報戦略や計画の立案のポイントについて習得する。	11月～2月	講義(120分)	19:00～21:00	各60名
				危機管理の心構えとクライシス・コミュニケーション推進のポイント	不祥事や事故、ネットにおける炎上や情報漏洩など、企業団体における危機的事態の原因、成功や失敗について実例を通じて解説し、広報・PR担当者が備えるべき心構えや対応のポイントを習得する。		講義と演習(240分)	17:00～21:00	
				マーケティング/ブランディングを基礎としたコミュニケーションの計画と実施	マーケティングPRのベースとなるマーケティングやブランディングの概念、考え方を解説し、演習をとおしてコミュニケーション計画の立案や活動実施のポイントを習得する。		講義と演習(240分)	17:00～21:00	
				CSR、IRと連携した経営と広報・PR戦略の展開	企業価値の向上に不可欠となっているCSRやIRの企業経営における位置付けや機能を確認し、先進企業のケーススタディをとおして企業をとりまくステークホルダーへのコミュニケーションのポイントを習得する。		講義(120分)	19:00～21:00	
				グローバル企業におけるグループ広報の実際とコミュニケーション戦略	グローバルにグループ展開している日本企業が行うコミュニケーション活動について、多様なケーススタディを通じてその戦略立案や計画推進のポイントを学ぶ。		講義(120分)	19:00～21:00	
				企業広報におけるインターネット導入の実際と効果的な活用	マスメディアと共存する新しいメディアとしてWebやソーシャルメディアを企業広報にどのように位置付け、活用していくべきか、実例をとおしてそのポイントを学ぶ。		講義(120分)	19:00～21:00	
				広報・PR活動を評価する効果測定の実際と新技法	広報・PR活動の効果測定の現状と新しい傾向を実例を通して学び、どのように効果測定を実施し活用していくべきかそのポイントを学ぶ。		講義(120分)	19:00～21:00	
PRプランナー試験対応コース	広報・PRに関する知識やスキルを習得させ、PRプランナー資格認定・検定制度試験を合格できる実力を育成する	広報・PR業務に興味を持ち、PRプランナー試験の合格をめざす方	1次試験対応講座	過去問題を活用し、模擬試験と解説で構成。全4回。	7月、1月	演習(120分)	各120分/週1回 4日間(夜間)	60名(会場受講者)	
			3次試験対応講座	ニュースリリース、広報・PR計画の立案作成(マーケティング)、広報・PR計画の立案作成(コーポレート)の3テーマを講義と演習でそれぞれ構成。全6回。	6月、12月	講義と演習(150分)	各150分/週1回 6日間(夜間)	60名(会場受講者)	

※各講座の詳細につきましては、順次ホームページ (<http://event.prsj.or.jp>) で発表いたします。

*カリキュラム及び講師については、変更する場合があります。予めご了承ください。